

沖縄島の宜名真海底鍾乳洞から新種のヤドカリ類、「クラヤミヤドカリ」を発見

沖縄島の宜名真海底鍾乳洞（通称：辺戸ドーム）からホンヤドカリ科の新種が発見され、島根大学の大澤正幸（おおさわまさゆき）博士と沖縄県立芸術大学の藤田喜久（ふじたよしひさ）教授の共同研究によって、2022年12月2日付けで学術雑誌「ズータクサ(Zootaxa)」に発表された。今回新種記載されたヤドカリ類は、シールド長（前甲長）が1.2 mm（体長6 mm程度）の極めて小さな種で、眼の角膜が縮小している（退化傾向を示す）。本種は、眼柄、眼棘、第1触角柄部、はさみ脚の形態的特徴により近縁種と区別することができることから、今回、新種として記載された。なお、本種が海底鍾乳洞奥部の暗黒下かつ汽水的な地下環境に生息することから、「クラヤミヤドカリ」の和名を提唱した。

<解説>

1. 今回、新種記載されたクラヤミヤドカリについて

今回の新種は、2020年、沖縄島国頭村沖に位置する宜名真海底鍾乳洞（通称：辺戸ドーム）にて実施された動物相調査によって採集された雄2個体を基に記載された。採集場所は、洞窟の入口（洞口）から約40m奥部の暗黒下であり、淡水の影響を受けて塩分が低下している汽水的環境（アンキアライン環境）であった。

本種は、シールド長（前甲長）が1.2 mm（体長6 mm程度）の極めて小さな種で、生時の体色は全体的に白色であり、眼の角膜が縮小（退化傾向を示す）していた。また、本種の各部を観察した結果、本種はホンヤドカリ科のシラカワヤドカリ属 *Eutrichopagurus* に属することが明らかとなった。シラカワヤドカリ属には、琉球列島のサンゴ礁域に分布するシラカワヤドカリ *Eutrichopaguru shirakawai* Komai, 2015 とインド洋クリスマス島の海底洞窟に分布する *Eutrichopagurus granulimanus* Komai, Rahayu & Fujita, 2021 の2種が含まれる。本種は、眼の角膜が小さいことからシラカワヤドカリに似るが、眼柄、眼棘、第1触角柄部、はさみ脚の形態的特徴から容易に区別することができ、今回、新種として記載することになった。

なお、本論文では、本種の和名として「クラヤミヤドカリ」を提唱したが、これは、本種が海底鍾乳洞奥部の暗黒環境に生息することに由来する。

2. 今回の発見の意義：琉球列島の海底洞窟環境の重要性

琉球列島のサンゴ礁浅海域には、大小様々な海底洞窟が存在している。海底洞窟の中には、陸上の鍾乳洞で見られるような石筍や石柱などの鍾乳石が水没した場所も見られる。このような海底洞窟環境には、眼が退化傾向を示す種や、海底洞窟以外では深海のみに生息する種など、非常に珍しい特徴を持つ動物が生息していることが知られている。

沖縄県立芸術大学の藤田喜久教授を代表とする海底洞窟調査グループは、2016年から日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によって、沖縄島、伊江島、久米島、宮古諸島下地島の海底洞窟における動物相研究を行っている。今回の新種記載論文の著者である大澤正幸博士と藤田喜久教授は、琉球列島の海底洞窟に生息するヤドカリ類相に関する研究を行っており、これまでに28種を記録した。今回の研究により、さらに1種の新種ヤドカリ類が追加され、海底洞窟環境におけるヤドカリ類の多様性に関する知見が増えることになった。

また、今回、クラヤマヤドカリが発見された宜名真海底鍾乳洞では、これまでに、3種の甲殻類（オキナワコオイエビ *Halosbaena okinawaensis* Shimomura & Fujita, 2017、ドウクツミジンコエビ *Seborgia cavernicola* Shimomura & Fujita, 2021、オクノスベスベオトヒメエビ *Odontozona okunoi* Saito & Fujita, 2018）、2種のクモヒトデ類（ドウクツモザイククモヒトデ *Ophiozonella cavernalis* Okanishi & Fujita, 2018、クニガミクモヒトデ *Ophiolepis cavitata* Okanishi & Fujita, 2018）など、新種動物の発見が相次いでおり、今後も新種の発見が十分に期待される。

なお、本研究は、藤田喜久教授を代表研究者とした日本学術振興会の科学研究助成事業（科研費：No. 20H03313）の支援を受けて行われたものである。

3. 論文の詳細

Osawa, M., & Fujita, Y., 2022. A new species of the genus *Eutrichopagurus* Komai, 2015 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from a submarine cave in the Ryukyu Islands, southwestern Japan. *Zootaxa*, 5214: 440-450.
(<https://doi.org/10.11646/zootaxa.5214.3.6>)

4. 問い合わせ先

[海底洞窟調査研究代表者] 藤田喜久（沖縄県立芸術大学・教授）：メール
fujitayo@okigei.ac.jp；携帯電話 090-1362-8131

[論文筆頭著者] 大澤正幸（島根大学エスチュアリー研究センター・客員研究員）：メール
osawam@soc.shimane-u.ac.jp

5. 提供可能資料

写真（tif ファイル）：標本写真



クラヤマヤドカリの写真（標本写真、生時の写真）および海底洞窟（宜名真海底鍾乳洞）の景観写真：藤田喜久